豊中市感染症発生動向調査事業実施要綱

(目的)

第1条 この要綱は、感染症の患者情報及び病原体に関する情報を正確に収集分析し、その結果を、 市民に公開及び医療機関へ提供することにより、感染症の予防及び防止を図るため、「感染症の 予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(平成10年法律第114号。以下「法」という。) 第3章の規定、及び「法の施行に伴う感染症発生動向調査事業の実施について」(平成11年3月 19日健医発第458号厚生省保健医療局長通知)における「感染症発生動向調査事業実施要綱」(以 下「動向調査要綱」という。)に基づき、感染症発生動向調査(以下「調査等」という。)の実施 にあたり必要な事項を定める。

(対象となる感染症)

第2条 調査等の対象となる疾病は、別表に定めるとおりとする。

(実施主体等)

- 第3条 実施主体は、豊中市とする。
- 2 所管は、保健所とする。
- 3 市長は、保健所で検査しないものについては、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所に依頼するものとする。

(指定届出機関及び指定提出機関の選定)

- 第4条 市長は、別表定点把握対象の感染症について、豊中市内での患者情報、疑似症情報及び病原体の分離等の検査情報を収集するため、法第14条第1項に規定する患者定点、疑似症定点及び病原体定点の指定届出機関を大阪府知事に選定依頼するものとする。
- 2 市長は、法施行規則 7 条の 2 に規定する五類感染症について、豊中市内での患者の検体又は当該感染症の病原体(以下「検体等」という。)を収集するため、法第 14 条の 2 第 1 項に規定する指定提出機関を大阪府知事に選出依頼するものとする。

(感染症発生動向調査委員会)

第5条 市長は、事業の的確な運用を図るため、感染症発生動向調査委員会を設置するものとする。 2 感染症発生動向調査委員会の運用については、別に定めるものとする。

(全数把握の対象疾病)

- 第6条 全数把握により行う調査等の対象となる者は次の各号に定める者とする。
 - (1) 別表の感染症分類が一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症(別表 75,85 及び 86)、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症の患者
 - (2) 別表の感染症分類が五類(全数把握分)(75,85 及び86 を除く) の患者

(全数把握の調査単位及び実施方法)

- 第7条 前条第1号に規定する患者を診察した医師は、国が定める基準により直ちに保健所に届出 を行うものとする。
- 2 前条第2号に規定する患者を診察した医師は、国が定める基準により7日以内に保健所に届出を行うものとする。
- 3 保健所は、前2項の届出を受けた場合、直ちに感染症発生動向調査システムに届出内容を入力 するものとする。
- 4 保健所は、第1項及び第2項の届出を受けた場合において、病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関に対して、病原体検査のための検体等の提供について、別に定める検査票を添付して依頼等するものとする。
- 5 第1項及び第2項の検体等を所持している医療機関は、保健所から当該患者の病原体検査のための検体等の提供の依頼又は命令を受けた場合にあっては、検体等について、保健所に協力し、別に定める検査票を添付して提供するものとする。
- 6 保健所は、検体等の提供を受けた場合には、別に定める検査票を添付して地方独立行政法人大 阪健康安全基盤研究所へ検査を依頼するものとする。

(定点把握の期間)

第8条 患者情報のうち定点把握の調査の期間は、別表の五類(小児科定点)及び、五類(眼科定点) については1週間、五類(性感染症定点)については1ヵ月間、また五類(基幹定点)について は92,95,96,107,108,109が1週間、105,109,110が1ヵ月間とする。

また、五類(急性呼吸器感染症定点)について、別に定める届出基準に一致する者としての当該 患者の総数を「急性呼吸器感染症」として届出を行うほか、90 および 97 については疾病毎の患 者数を届出ることとする。

(患者定点)

- 第9条 患者定点として選定された医療機関(以下「選定医療機関」という。)は、保健所に速やかな情報提供を図る趣旨から、国が定める報告基準により、調査単位期間に係る診療時において、 患者発生状況の把握を行うものとする。
- 2 選定医療機関は、国が定める様式によりそれぞれ調査単位の患者発生状況を記載するものとする。
- 3 選定医療機関は、患者情報を国の報告基準に基づき保健所へ提供するものとする。なお、当該情報の提供方法については、患者情報の円滑な収集の観点から、地域の特性に応じた適切な方法を採用することができるものとする。

(病原体定点)

- 第10条 病原体定点として選定された医療機関においては、必要に応じて病原体検査のために検 体等を採取するものとする。
- 2 病原体定点医療機関で採取された検体等は、検査票を添えて速やかに地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所に送付するものとする。
- 3 別表の五類(小児科定点)においては、患者発生状況等を踏まえ、あらかじめ選定した複数の 感染症について、調査単位区ごとに、概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体を送付す るものとする。
- 4 別表の五類(急性呼吸器感染症定点)においては、五類(小児科定点)又は五類(内科定点)により探知された症例から採取し、営業日のうち週はじめから数えて第2営業日に収集し保健所に提出するものとする。
- 5 提出された検体等は、感染症の発生及びまん延防止策の構築、公衆衛生のために仕様されるものであり、それ以外の目的には用いてはならない。

(疑似症定点)

- 第11条 疑似症定点として選定された定点把握の対象の指定届出機関においては、速やかな情報 提供を図る趣旨から、診療時における別に定める届出基準により、直ちに疑似症発生状況の把握 を行い、疑似症発生状況等を記載する。なお、当該疑似症の届出については、原則として汎用サ ーベイランスシステムへの入力により実施することとする。
- 2 保健所は、疑似症定点において汎用サーベイランスシステムへの入力を実施することができない場合は、当該疑似症定点から得られた疑似症情報を、直ちに、汎用サーベイランスに入力するものとし、また、対象疑似症についての集団発生その他特記すべき情報について大阪府及び地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所に報告する。

(情報提供)

- 第12条 保健所は、別表に定める感染症について検査票及び検体等が送付された場合は、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所に検査結果を確認し、その結果を診断した医師に通知するものとする。
- 2 保健所は、患者が一類感染症と診断されている場合、都道府県を超えた集団発生があった場合 その他緊急の場合にあっては、厚生労働省からの依頼に基づき検体を国立感染症研究所に送付す るものとする。
- 3 保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況を把握し、必要に応じて大阪府、関係医療機関、 医師会、教育委員会等に発生状況を提供し連携を図るものとする。
- 4 保健所は、市内の患者発生情報及び病原体情報を収集し、大阪府感染症情報センターへ送付し、 大阪府感染症解析小委員会での分析結果を週報等として公表される大阪府情報及び全国情報と 併せて、関係医療機関その他に提供するものとする。

- 5 保健所は、情報の提供及び公開にあたっては個人情報の保護に留意しなければならない。 (医師会との連携)
- 第13条 市域の詳細な感染症の発生に関する情報の把握、分析については、医師会に委託して行うものとする。

附則

- この要綱は、平成24年4月1日から施行する。 附則
- この要綱は、平成25年3月4日から施行する。 附則
- この要綱は、平成25年4月1日から施行する。 附則
- この要綱は、平成25年5月6日から施行する。 附則
- この要綱は、平成25年10月14日から施行する。 附則
- この要綱は、平成26年7月26日から施行する。 附則
- この要綱は、平成26年9月19日から施行する。 附則
- この要綱は、平成27年1月21日から施行する。 附則
- この要綱は、平成27年5月21日から施行する。 附則
- この要綱は、平成28年2月15日から施行する。 附則
- この要綱は、平成28年4月1日から施行する。 附則
- この要綱は、平成29年4月1日から施行する。 附則
- この要綱は、平成30年1月1日から施行する。 附則
- この要綱は、平成30年5月1日から施行する。 附則
- この要綱は、平成31年4月1日から施行する。 附則
- この要綱は、令和5年5月26日から施行する。 附則
- この要綱は、令和7年4月7日から施行する。

感染症分類	3	
一類		エボラ出血熱
		クリミア・コンゴ出血熱
		痘そう 南米出血熱
		ペスト
		マールブルグ病
二類		ラッサ熱 急性灰白髄炎
— X2		結核
	10	ジフテリア
	11	重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)
	12	中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス 属MERSコロナウイルスであるものに限る。)
		鳥インフルエンザ(H5N1)
三類	14 15	鳥インフルエンザ(H7N9) コレラ
		細菌性赤痢
		腸管出血性大腸菌感染症
		腸チフス パラチフス
四類		E型肝炎
	21	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎含む。)
		A型肝炎
		エキノコックス症 <u>エムポックス</u>
		黄熱
	26	<u>オウム病</u>
	_	<u>オムスク出血熱</u>
	_	<u>回帰熱</u>
	29 30	<u>キャサヌル森林病</u> <u>Q熱</u>
		 <u>狂犬病</u>
	<u>32</u>	
	32	
		ジカウイルス感染症 重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボ
	04	ウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)
	35	腎症候性出血熱(HFRS)
		西部ウマ脳炎
		ダニ媒介脳炎 炭疽
		チクングニア熱
		つつが虫病
		デング熱
		東部ウマ脳炎 鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。)
	44	
		日本紅斑熱
		日本脳炎 ハンタウイルス肺症候群(HPS)
		ハンダワイルス肺症候群(HPS) Bウイルス病
		鼻疽
		ブルセラ症
		ベネズエラウマ脳炎 ヘンドラウイルス感染症
		ヘントプワイルス感染症 発しんチフス
		ボツリヌス症
		マラリア
		野兎病ライム病
		リッサウイルス感染症
		リフトバレー熱
		類鼻疽
		レジオネラ症
		レプトスピラ症
五類	63	ロッキー山紅斑熱 アメーバ赤痢
(全数把握分)		ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)
	66	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症
		急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。) 急性脳炎 (ウェストナイル脳炎 西部ウマ脳炎 ダ
	68	二媒介性脳炎、東部ウマ、日本脳炎、ベネズエラウ
		マ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)

五類	69	クリプトスポリジウム症
(全数把握分)続き	70	クロイツフェルト・ヤコブ病
	71	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
	72	後天性免疫不全症候群
		ジアルジア症
		侵襲性インフルエンザ菌感染症
		侵襲性髄膜炎菌感染症
		侵襲性肺炎球菌感染症
		水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る。)
		先天性風しん症候群
		梅毒
		播種性クリプトコックス症
		破傷風
		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症 百日咳
		風しん
		麻しん
		薬剤耐性アシネトバクター感染症
五類		RSウイルス感染症
(小児科定点)		咽頭結膜熱
(1.2014 XC W.)		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
	_	感染性胃腸炎
		水痘
	_	<u>手足口病</u>
		<u>伝染性紅斑</u>
		<u> </u>
		ヘルパンギーナ
		流行性耳下腺炎
五類		RSウイルス感染症
(急性呼吸器感染		咽頭結膜熱
症定点)	90	インフルエンザ(鳥インフルエンザおよび新型インフルエ
		<u>ンザ等感染症を除く)</u>
	91	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
	93	※急性呼吸器感染症(インフルエンザ(鳥インフルエンザ及
		び新型インフルエンザ等感染症 を除く。)、RSウイルス感 染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、クラミジ
		ア肺炎(オウム病を除く。)、新型コロナウイルス感染症(病
		原体がベータコロナウ イルス属のコロナウイルス(令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、
		人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに
		限る。)であるもの に限る。)、百日咳、ヘルパンギーナ、マ イコプラズマ肺炎を除く。)
		虹刑=ローカノリス成法に(左広はだく カーローカノリ
	97	新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイル
	97	ス属のコロナウイルス(令和2年1月に中華人民共和国から
	<u>97</u>	ス属のコロナウイルス(令和2年1月に中華人民共和国から
		ス鷹のコロナウイルス(学和2年1月に甲華人民共和国から 世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが 新たに報告されたものに限る)であるものに限る。)
	<u>106</u>	ス鷹のコロナウイルス(学和2年1月に甲華人民共和国から 世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが 新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) △ルパンギーナ
五類	106 94	ス鷹のコロナワイルス(学和2年1月に甲華人民共和国から 世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが 動たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎
(眼科定点)	106 94 111	ス属のコロナウイルス(学和2年1月15甲華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが 新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎
(眼科定点) 五類	106 94 111 99	ス属のコロナウイルス(学和2年1月15甲華人民共和国から 世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが 新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラミジア感染症
(眼科定点)	106 94 111 99 100	ス属のコロナウイルス(学和2年1月15甲華人民共和国から 世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが 新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラミジア感染症 性器ヘルペスウイルス感染症
(眼科定点) 五類	106 94 111 99 100 101	ス属のコロナウイルス(学和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラミジア感染症 性器ヘルペスウイルス感染症 尖圭コンジローマ
(眼科定点) 五類 (性感染症定点)	106 94 111 99 100 101 113	ス属のコロナウイルス(学和2年1月15中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラミジア感染症 性器ヘルペスウイルス感染症 失圭コンジローマ 淋菌感染症
(眼科定点) 五類 (性感染症定点) 五類	106 94 111 99 100 101 113 92	ス属のコロナウイルス(学和2年1月15中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラミジア感染症 性器クルペスウイルス感染症 失圭コンジローマ 淋菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)
(眼科定点) 五類 (性感染症定点)	106 94 111 99 100 101 113 92 95	ス属のコロナウイルス(学和2年1月15中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラミジア感染症 性器ヘルペスウイルス感染症 失圭コンジローマ 淋菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
(眼科定点) 五類 (性感染症定点) 五類	106 94 111 99 100 101 113 92	ス属のコロナウイルス(学和2年1月15中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラミジア感染症 性器ヘルペスウイルス感染症 失圭コンジローマ 淋菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
(眼科定点) 五類 (性感染症定点) 五類	106 94 111 99 100 101 113 92 95 96	ス属のコロナウイルス(守和2年1月12甲華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性粘膜炎 流行性角結膜炎 性器クラミジア感染症 性器ヘルペスウイルス感染症 失まコンジローマ 迷菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
(眼科定点) 五類 (性感染症定点) 五類	106 94 111 99 100 101 113 92 95 96	ス属のコロナウイルス(守和2年1月12甲華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラミジア感染症 性器ヘルペスウイルス感染症 失まコンジローマ 淋菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラミジア肺炎 (オウム病を除く。) 細菌性髄膜炎(インルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として特定された場合を除く。) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症
(眼科定点) 五類 (性感染症定点) 五類	106 94 111 99 100 101 113 92 95 96	ス属のコロナウイルス(守和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラミジア感染症 性器ヘルペスウイルス感染症 失圭コンジローマ 滋菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラミジア肺炎 (オウム病を除く。) グラミジア肺炎 (オウム病を除く。) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 東ロンレエマ神菌・髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として特定された場合を除く。)
(眼科定点) 五類 (性感染症定点) 五類	106 94 111 99 100 101 113 92 95 96 105 107	ス属のコロナウイルス(令和2年1月に中華人民共和国かと世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラミジア感染症 性器ヘルペスウイルス感染症 失圭コンジローマ 淋菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラミジア肺炎(インフルエンサ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として特定された場合を除く。) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 マイコブラズマ肺炎 無菌性髄膜炎
(眼科定点) 五類 (性感染症定点) 五類	106 94 1111 99 100 101 113 92 95 96 105 107 108 109	ス属のコロナウイルス(守和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラミジア感染症 性器ヘルペスウイルス感染症 失圭コンジローマ 淋菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラミジア肺炎(オウム病を除く。) 細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として特定された場合を除く。) ベニシリン耐性肺炎球菌感染症 マイコブラズマ肺炎 無菌性髄膜炎 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症
(眼科定点) 五類 (性感染症定点) 五類 (基幹定点)	106 94 1111 99 100 101 113 92 95 96 105 107 108 109 110	ス属のコロナウイルス(守和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラミジア感染症 性器ヘルペスウイルス感染症 失圭コンジローマ 淋菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラミジア肺炎 (オウム病を除る。) 細菌性髄膜炎(インフルエン・対面、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として特定された場合を除る。) ベニシリン耐性肺炎球菌感染症 マイコブラズマ肺炎 無菌性髄膜炎 メチシリン耐性肺炎球菌感染症 薬剤耐性緑膿菌感染症
(眼科定点) 五類 (性感染症定点) 五類	106 94 111 99 100 101 113 92 95 96 105 107 108 109 110	ス属のコロナウイルス(守和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラミジア感染症 性器クラミジア感染症 性器ヘルベスウイルス感染症 失主コンジローマ 淋菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラミジア肺炎 (オウム病を除く。) 細菌性髄膜炎(インフルエン・ザ画、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として特定された場合を除く。) ベニシリン耐性肺炎球菌感染症 マイコブラズマ肺炎 無菌性髄膜炎 メチシリン耐性肺炎球菌感染症 薬剤耐性線膿菌感染症 新型インフルエン・ザ
(眼科定点) 五類 (性感染症定点) 五類 (基幹定点)	106 94 1111 99 100 101 113 92 95 96 105 107 108 109 110 114 115	ス属のコロナウイルス(守和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有ることが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラミジア感染症 性器ヘルベスウイルス感染症 炎圭コンジローマ 淋菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラミジア肺炎 (オウム病を除く。) 細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として特定された場合を除く。) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 エイコブラズマ肺炎 無菌性髄膜炎 メチシリン耐性肺炎球菌感染症 薬剤耐性緑膿菌感染症 新型インフルエンザ 再興型インフルエンザ
(眼科定点) 五類 (性感染症定点) 五類 (基幹定点)	106 94 111 99 100 101 113 92 95 96 107 108 109 110 114 115 116	ス属のコロナウイルス(守和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有ることが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 性程クラミジア感染症 性器クラミジア感染症 性器ヘルベスウイルス感染症 炎圭コンジローマ 淋菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラミジア肺炎 (オウム病を除く。) 細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として特定された場合を除く。) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 マイコプラズマ肺炎 無菌性髄膜炎 メチシリン耐性肺炎球菌感染症 薬剤耐性緑膿菌感染症 新型インフルエンザ 再興型インフルエンザ 再興型インフルエンザ 新型コロナウイルス感染症
(眼科定点) 五類 (性感染症定点) 五類 (基幹定点) 新型インフルエンザ 等感染症	106 94 111 99 100 101 113 92 95 96 107 108 109 110 114 115 116	ス属のコロナウイルス(守和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有ることが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 性程クラミジア感染症 性器クラミジア感染症 性器ヘルベスウイルス感染症 炎圭コンジローマ 淋菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラミジア肺炎 (オウム病を除く。) 細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌 髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として特定された場合を除く。) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 マイコプラズマ肺炎 無菌性髄膜炎 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 薬剤耐性緑膿菌感染症 新型インフルエンザ 再興型インフルエンザ 再興型インフルエンザ 野型コロナウイルス感染症 再興型コロナウイルス感染症
(眼科定点) 五類 (性感染症定点) 五類 (基幹定点) 新型インフルエンザ 等感染症 指定感染症	106 94 111 99 100 101 113 92 95 96 105 107 108 109 110 114 115 116 117	ス属のコロナウイルス(令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有ることが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 性器クラミジア感染症 性器クラミジア感染症 性器ヘルベスウイルス感染症 炎圭コンジローマ 淋菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラミジア肺炎 (オウム病を除く。) 細菌性髄膜炎(インルエンザ菌 髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として特定された場合を除く。) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 マイコプラズマ肺炎 無菌性髄膜炎 メチシリン耐性肺炎球菌感染症 薬剤耐性緑膿菌感染症 新型インフルエンザ 再興型インフルエンザ 再興型インフルエンザ 新型コロナウイルス感染症 再興型コロナウイルス感染症 取令・省令通知に基づく感染症
(眼科定点) 五類 (性感染症定点) 五類 (基幹定点) 新型インフルエンザ 等感染症	106 94 111 99 100 101 113 92 95 96 107 108 109 110 114 115 116	ス属のコロナウイルス(令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラミジア感染症 性器ヘルペスウイルス感染症 大圭コンジローマ 淋菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラミジア肺炎(オウム病を除く。) 細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として特定された場合を除く。) ベニシリン耐性肺炎球菌感染症 ヌイコブラズマ肺炎 無菌性髄膜炎 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 薬剤耐性緑膿菌感染症 新型インフルエンザ 再興型インフルエンザ 再興型インフルエンザ 野型コロナウイルス感染症 再興型ココナウイルス感染症 再興型ココナウイルス感染症 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症
(眼科定点) 五類 (性感染症定点) 五類 (基幹定点) 新型インフルエンザ 等感染症 指定感染症 法第1項に規	106 94 111 99 100 101 113 92 95 96 105 107 108 109 110 114 115 116 117	ス属のコロナウイルス(令和2年1月に中華人民共和国かと世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラミジア感染症 性器ヘルペスウイルス感染症 失圭コンジローマ 淋菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラミジア肺炎(オウム病を除く。) 総動性・観度炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として特定された場合を除く。) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 東イコブラズマ肺炎 無菌性髄膜炎 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 素剤耐性緑膿菌感染症 新型インフルエンザ 新型コロナウイルス感染症 再興型コンフルエンザ 新型コロナウイルス感染症 再興型コロナウイルス感染症 攻令・省令通知に基づく感染症 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症 状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般 に認められている医学的知見に基づき、集中治疾をの他に
(眼科定点) 五類 (性感染症定点) 五類 (基幹定点) (基幹定点) 新型インフルエンザ 等感染症 指定感染症 環に規令 変する厚生気動 の名	106 94 111 99 100 101 113 92 95 96 105 107 108 109 110 114 115 116 117	ス属のコロナウイルス(令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有ることが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラジア感染症 性器ヘルペスウイルス感染症 炎圭コンジローマ 淋菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラジア肺炎(オウム病を除る。) 細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として特定された場合を除く。) ベニシリン耐性肺炎球菌感染症 マイコブラズマ肺炎 無菌性髄膜炎 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 薬剤耐性緑膿菌感染症 新型インフルエンザ 再興型インフルエンザ 新型コロナウイルス感染症 東州型コロナウイルス感染症 発熱・呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その晩また
(眼科定点) 五類 (性感染症定点) 五類 (体感染症定点) 五類 (基幹定点) 新型インフルエンザ 等感染症 指定感染症項に規定する厚葉の関係を発する厚葉似症	106 94 111 99 100 101 113 92 95 96 107 108 109 110 114 115 116 117	ス属のコロナウイルス(特別生1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有ることが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ハルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラシジア感染症 性器ヘルペスウイルス感染症 炎圭コンジローマ 淋菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラシジア肺炎(イウム病を除く。) 細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として特定された場合を除く。) 経菌性髄膜炎 メチシリン耐性肺炎球菌感染症 マイコブラズマ肺炎 無菌性髄膜炎 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 薬剤耐性緑膿菌感染症 新型インフルエンザ 再異型インフルエンザ 新型コロナウイルス感染症 更楽化フルエンザ 新型コロナウイルス感染症 発熱・呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに達するものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。
(眼科定点) 五類 (性感染症定点) 五類 (性感染症定点) 五類 (基幹定点) 新野座点 新型型インフルエンザ 指策第14条第1項制 法定で定める疑症 法定する厚生例 法定する厚生別	106 94 111 99 100 101 113 92 95 96 107 108 109 110 114 115 116 117	ス属のコロナウイルス(令和2年1月に中華人民共和国かと世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラミジア感染症 性器ヘルペスウイルス感染症 大きコンジローマ 迷菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラミジア肺炎(オウルス・変染症 大きコンジローマ 迷菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラミジア肺炎(オウルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として特定された場合を除く。) ベニシリン耐性肺炎球菌感染症 ヌイコプラズマ肺炎 無菌性髄膜炎 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 薬剤耐性緑膿菌感染症 新型インフルエンザ 再興型インフルエンザ 再興型インフルエンザ 再興型インフルエンザ 再興型インフルエンザ 要型コロナウイルス感染症 再興型コロナウイルス感染症 表熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症 状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他に れに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症 と診断することができないと判断したもの。 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症 れたずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症 と診断することができないと判断したもの。
(眼科定点) 五類 (性感染症定点) 五類 (基幹定点) (基幹定点) 新型インフルエンザ等感染症 項側 機 第74 厚 疑 保 第74 厚 疑 似 会 会 で 定 め る 逐 条 章 項 側 会 会 で 定 が る 変 項 に 規 会 常 3 項 に 規 会 常 3 項 に 規 会 第 3 項 に 規	106 94 111 99 100 101 113 92 95 96 107 108 109 110 114 115 116 117	ス属のコロナウイルス(特別生1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラミジア感染症 性器ヘルペスウイルス感染症 大まコンジローマ 淋菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラミジア肺炎(オウム病を除く。) 細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として特定された場合を除く。) ベニシリン耐性肺炎球菌感染症 マイコブラズマ肺炎 無菌性髄膜炎 メチシリン耐性肺炎球菌感染症 変乳計性線膿菌感染症 新型インフルエンザ 再興型インフルエンザ 再興型インフルエンザ 新型コロナウイルス感染症 東外町吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他に記められている医学のあり、かつ、直ちに特定の感染症と影射することができないと判断したもの。
(眼科定点) 五類 (性感染症定点) 五類 (性感染症定点) 五類 (基幹定点) 新野座点 新型型インフルエンザ 指策第14条第1項制 法定で定める疑症 法定する厚生例 法定する厚生別	106 94 111 99 100 101 113 92 95 96 107 108 109 110 114 115 116 117	ス属のコロナウイルス(令和2年1月に中華人民共和国かと世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラミジア感染症 性器ヘルペスウイルス感染症 大きコンジローマ 迷菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラミジア肺炎(オウルス・変染症 大きコンジローマ 迷菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラミジア肺炎(オウルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として特定された場合を除く。) ベニシリン耐性肺炎球菌感染症 ヌイコプラズマ肺炎 無菌性髄膜炎 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 薬剤耐性緑膿菌感染症 新型インフルエンザ 再興型インフルエンザ 再興型インフルエンザ 再興型インフルエンザ 再興型インフルエンザ 要型コロナウイルス感染症 再興型コロナウイルス感染症 表熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症 状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他に れに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症 と診断することができないと判断したもの。 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症 れたずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症 と診断することができないと判断したもの。
(眼科定点) 五類 (性感染症定点) 五類 (性感染症定点) 五類 (基幹定点) 新野座点 新型型インフルエンザ 指策第14条第1項制 法定で定める疑症 法定する厚生例 法定する厚生別	106 94 111 99 100 101 113 92 95 96 107 108 109 110 114 115 116 117	ス属のコロナウイルス(特別と生)月に甲華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有ることが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラミジア感染症 性器ヘルペスウイルス感染症 女主コンジローマ 淋菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラミジア肺炎(オウム病を除く。) 細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として特定された場合を除く。) ボニシリン耐性肺炎球菌感染症 マイコブラズマ肺炎 無菌性髄膜炎 メチシリン耐性肺炎球菌感染症 薬利耐性縁膿菌感染症 新型インフルエンザ 再興型インフルエンザ 再興型インフルエンザ 新型コロナウイルス感染症 現代シールの影染症 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状をの他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他こと診断することができないと判断したもの。
(眼科定点) 五類 (性感染症定点) 五類 (性感染症定点) 五類 (基幹定点) 新野座点 新型型インフルエンザ 指策第14条第1項制 法定で定める疑症 法定する厚生例 法定する厚生別	106 94 111 99 100 101 113 92 95 96 107 108 109 110 114 115 116 117	ス属のコロナワイルス(特別生1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラミジア感染症 性器ヘルペスウイルス感染症 大きコンジローマ 淋菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラミジア肺炎(オウム病を除く。) 超菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として特定された場合を除く。) ベニシリン耐性肺炎球菌感染症 ヌイコブラズマ肺炎 無菌性髄膜炎 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 薬剤耐性緑膿菌感染症 新型インフルエンザ 再興型インフルエンザ 新型コロナウイルス感染症 東熱耐性経膿菌感染症 致令・省令通知に基づく感染症 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症 れに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症 と診断することができないと判断したもの。 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症 れに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症 と診断することができないと判断したもの。
(眼科定点) 五類 (性感染症定点) 五類 (性感染症定点) 五類 (基幹定点) 新野座点 新型型インフルエンザ 指策第14条第1項制 法定で定める疑症 法定する厚生例 法定する厚生別	106 94 111 99 100 101 113 92 95 96 107 108 109 110 114 115 116 117	ス属のコロナウイルス(や知生1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラミジア感染症 性器ヘルペスウイルス感染症 失圭コンジローマ 淋菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラミジア肺炎(オウム病を除く。) 超動性総膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として特定された場合を除く。) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 東イコブラズマ肺炎 無菌性髄膜炎 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 素剤耐性縁膜菌感染症 新型インフルエンザ 新型コロナウイルス感染症 再興型インフルエンザ 新型コロナウイルス感染症 み令・省令通知に基づく感染症 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症 に認められている医学的知見に基づき、集中治療への他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症 と診断することができないと判断したもの。 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療を全能が表ものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。 またいた場合ものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの方ち、医師が一般に記められている医学的知見に基づき、集中治療をの他これに準ずるものが必要であり、かっ直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したものであって、当該感染症にかかった場合の病状の程度が重重にあるるものが発生といまれてきないと判断し、お道所来の他これに準ずるものが必要であり、可していることができないと判断したものであるものが発生に入れて発生するおそれがあると判断し、都道所来の関係を必要にないないとないなどのである。
(眼科定点) 五類 (性感染症定点) 五類 (性感染症定点) 五類 (基幹定点) 新野座点 新型型インフルエンザ 指策第14条第1項制 法定で定める疑症 法定する厚生例 法定する厚生別	106 94 111 99 100 101 113 92 95 96 107 108 109 110 114 115 116 117	ス属のコロナウイルス(令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る)であるものに限る。) ヘルパンギーナ 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラジア感染症 性器ヘルペスウイルス感染症 炎圭コンジローマ 淋菌感染症 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) クラジア肺炎(オウム病を除く。) 細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として特定された場合を除く。) 細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として特定された場合を除く。) 無菌性髄膜炎 メチシリン耐性肺炎球菌感染症 変イコブラズマ肺炎 無菌性髄膜炎 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 薬剤耐性緑膿菌感染症 新型インフルエンザ 再興型インフルエンザ 新型コロナウイルス感染症 異熱の呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状ぞの他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他にと診断することができないと判断したもの。 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他に大その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他になるとかできないと判断したものであって、当診験状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その後生と診断することができないと判断したものであって、当診験・発症にかかった場合の病状の程度が重策であるものが発生に、カルウェ場合の病状の程度が重策であるものが発生に、カルウェ場合の病状の程度が重策であるものが発生に、カルウェ場合の病状のを師に法第14